

データ利用研究推進グループからの報告

令和4年3月8日

静止気象衛星に関する懇談会

データ利用研究推進グループ

第3回会合 議事次第

日時：令和4年1月31日(月) 14:00～15:30

場所：オンライン開催

出席者：委員20名 + 気象庁16名 計36名

<大気分野>

入江仁士 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 准教授
久保田拓志 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門地球観測研究センター 研究領域主幹
五藤大輔 国立環境研究所地域環境保全領域大気モデリング研究室 主任研究員
佐藤陽祐 北海道大学大学院理学研究院
北海道気象予測技術分野・北海道気象技術センター 特任准教授
清木亜矢子 海洋研究開発機構 地球環境部門大気海洋相互作用研究プログラム 研究員
竹中栄晶 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 特任助教
中島 孝 東海大学情報理工学部情報科学科 教授
橋本真喜子 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門地球観測研究センター 研究開発員
濱田 篤 富山大学都市デザイン学部 准教授
日暮明子 国立環境研究所地球システム領域大気遠隔計測研究室 主任研究員
本田 匠 国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター基礎科学特別研究員

<地球表面分野>

可知美佐子 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門地球観測研究センター 研究領域主幹
小橋史明 東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門 教授
高木方隆 高知工科大学システム工学群 教授
竹内 涉 東京大学生産技術研究所人間・社会系部門 教授
平田貴文 北海道大学北極域研究センター 特任准教授
堀 雅裕 富山大学 学術研究部 都市デザイン学系 教授
本多嘉明 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 准教授
村上 浩 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門地球観測研究センター 研究領域主幹
森山雅雄 長崎大学大学院工学研究科 准教授

(1) 研究者向けデータ提供の成果

- ・ 研究開発を目的とし、利用目的を限定したひまわりデータの提供の仕組みにより、次のような研究成果が創出された。
 - ・ ひまわりデータの幾何補正手法の開発
 - ・ 陸面解析による陸域・災害モニタリング手法の開発
 - ・ 日射量算出による太陽光発電推定手法開発
 - ・ 気象予測モデル初期データへの利用及び検証 等
- ・ JAXAでは、このデータを用いて、様々な物理プロダクトを作成し、公開している。これらについて、民間企業から商用利用したいという意見がある。
 - ・ 同化シミュレーションデータなど付加価値のついたデータの利用促進のために、高付加価値をつけた機関が責任をもってデータを提供できるようにすることも検討するとよい。

(2) 後継衛星のデータを活用した研究促進について

- 本グループの活動を通して、ひまわり8/9号の活用が進んでいる。後継衛星についても、引き続きこのような場を設けていただきたい。
- 後継衛星に複数センサを搭載する場合、決定し次第、利用研究を始める人がいるだろう。